

# 市民建産常任委員会報告書

令和 7 年 9 月 2 日

委員長 中野 敦史

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和 7 年 7 月 15 日、8 月 7 日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

## 建設産業部

### 商工政策課

**商業観光係**から、令和 7 年度古賀市消費生活センター受付状況、新事業創出促進補助金、古賀市キャッシュレス商品券（こが pay）、新たな観光事業促進補助金、古賀サービスエリア及び照葉スパリゾートでのイベント、KBC オーガスタでの出店、古賀市飲食店ガイドの作成について報告がありました。

**委員**から、古賀市飲食店ガイドの作成において、商工会や料飲店組合との関わりはあるかとの問いに、古賀市飲食店ガイドの作成については、商工会及び料飲店組合の会員リストから、取材対象等のピックアップを実施していく予定とのこと。

また、古賀サービスエリア、照葉スパリゾート、KBC オーガスタ、それぞれの観光 PR とはどのようなことを行うのかとの問いに、PR の方法としてはチラシ、パンフレットの配布がメインである。古賀サービスエリアでは、モニターで観光 PR 動画の放映や有人での広報活動を行うとのこと。

さらに、古賀サービスエリアのイベントにおいてはふるさと納税自動販売機も関連させた PR を検討できないかとの問いに、周知も兼ねた PR を検討したいとのこと。

また、KBC オーガスタで予定されているかき氷販売では、農林振興課と連携し、古賀市産果物の使用を検討できないかとの問いに、パンフレットの配布もあるが、メディアへの露出が期待される日程に焦点を当てていることから、そのようなできる限りの手段を用いて、古賀の PR を行いたいとのこと。

また、照葉スパリゾートにおいては、パネル展示だけではなく PR 動画の放映や、古賀市やモノづくりのステッカーを配布するなどの PR を検討できないかとの問いに、まだ未定であるが、ノベルティ配布を検討している。市内事業所のものづくり技術を活かしたノベルティの制作を現在依頼しており、配布に向けて準備を整えたいと考えているとのこと。

**事業者支援係**から、無料職業紹介所、ふるさと応援寄附、第 13 回古賀モノづくり博「工場見学・体験教室」したいけんツアーの開催、古賀市燃料高騰対策運送事業者等支援金、古賀市物価高騰対策事業者支援補助金について報告がありました。

**委員**から、古賀市物価高騰対策事業者支援補助金について、審査基準、及び国の IT 導入補助金等の他の制度との併用についての問いに、審査基準等についてはこれから要綱等で整理を行っていくが、企業全体として最適化・効率化が図られるかといった観点を重視して審査を行っていくとのこと。国の IT 導入補助金等、他の制度との併用については、ある 1 つの物品に対しての併用は排除することとなるが、補助対象経費の切り分けが行われている場合、市の補助金では国の補助金との併用を認める方向で調整しているとのこと。

また、モノづくり博の体験ツアーの現在の申込み状況と、募集のPRや告知の方法についての問いに、現在、定員50名に対して60名の申込みがある。周知は教育委員会に御協力いただき、保護者宛てのメールにて行ったとのこと。

無料職業紹介所の正規職員及び非正規職員の採用状況はとの問いに、正規職員の求職者は一定数存在するが、非正規職員の求職者がそれを上回って増加している。最近では60代、70代の高齢者の就職ニーズが非常に高まっており、採用実績も増加している。紹介所としても、生涯、仕事を通じて健康に暮らすという観点から、高齢者雇用への取組を強化しているとのこと。

## 農林振興課

農林振興係から、朝どりこがスイーツコーン祭の開催とその注文販売状況について、及び農家直売！軽トラ市の開催について報告がありました。

委員から、外で作業する職員の暑さ対策はとの問いに、現場回りも含め、普段からの作業では、水分補給をこまめに行うことや、作業着に空調服を採用するなど熱中症を予防しながら事業に当たっているとのこと。

農政係から、農地パトロールの実施、令和7年度多面的機能支払交付金、農山漁村振興交付金について報告がありました。

農林土木係から、農業用施設管理事業、農業基盤整備促進事業、防災力強化事業について報告がありました。

委員から、薦野清滝基盤整備事業について、市の負担は何%か、市が負担するのは何故か、との問いに、市の負担は7.5%。薦野清滝基盤整備事業に関しては、農地中間管理機構関連農地整備事業という、国県市の負担はあるが、農家の持ち出しがない制度で行っているとのこと。

## 建設課

土木係から、主要な事業の進捗について報告がありました。

委員から、各行政区からの要望に対する対応の流れはとの問いに、要望の集計等を行い、現地確認、予算調整の上、緊急性等を考慮し、緊急性の極めて高いものについては随時対応していきたいと考えている。また、要望に対する回答は次年度の予算の関係もあるため、翌年度1月以降、区長会等で方向性を回答するとのこと。

管理係から、県事業工事予定箇所について報告がありました。

地籍調査係から、令和7年度地籍調査業務委託について報告がありました。

委員から、地籍調査において、山林の中でのレーザーや巻尺による測量は非常に困難ではないか。また、測量時に地権者も同行する場合の事故等に対する対応はとの問いに、山林における測量はトータルステーションを用いており、谷山地区、小山田地区においても問題なく行っている。

また、山林での測量における同行者の事故に対しては、毎年度十分な予算を確保し、地権者及び推進委員の方々に傷害保険をかけた上で、地域事務一筆地調査に当たっているとのこと。

## 上下水道課

総務・上水道管理係から、水道事業会計決算、令和7年度古賀市上下水道事業経営等審議会、「上下水道ラボ」について報告がありました。

上水道係から、令和7年度の工事箇所について報告がありました。

下水道管理係から、下水道事業会計決算について報告がありました。

下水道係から、令和 7 年度の工事箇所及び福岡広域都市計画下水道の変更について報告がありました。

その他として、国道 495 号線の陥落について報告がありました。

委員から、陥落事故の原因はとの問いに、下水道管渠が原因ではないと把握している。土木事務所及び県で引き続き調査が行われるため、結果を待つとのこと。

古賀駅周辺開発推進課から、都市計画道路古賀駅五楽線ほか 2 路線の都市計画の変更、JR 古賀駅西口周辺整備社会実験、JR 古賀駅周辺官民連携ウォークブル社会実験補助金の採択結果及び契約状況について説明がありました。

委員から、JR 古賀駅西口周辺整備社会実験支援業務委託における契約概要中の「まちづくりの機運醸成に向けて」について、課としてどのように捉えているかとの問いに、社会実験を通して、駅周辺の将来像や利用イメージを体感していただける機会になればと考えているとのこと。

都市空間情報デジタル基盤更新等業務委託における、ワークショップの開催時期及び情報発信や意見交換のアプリケーションの導入時期はとの問いに、ワークショップの開催時期は具体的に決まっていないが、3 月までに 3 回程度検討しており、秋口、年末、年明けのようなスケジュールになると考えている。情報発信や意見交換のアプリケーションは、ワークショップの中でデジタルプラットフォームを活用しながら、市民がどこにいてもその情報にアクセスできる環境づくりも併せて行っていきたいと考えており、それが何回目のワークショップから活用可能となるか事業者と調整中であるとのこと。

東口周辺整備について、駅の手寄せ及び民家の移転軒数の想定はとの問いに、現時点では、花見栗原線沿線では約 5 軒から 6 軒ほど影響があると考えている。JR 古賀駅の手寄せについては、現在、乗降に必要な台数を確保する形で警察と協議を進めているとのこと。

郵便局から古賀競成館高校方面への道路法線はとの問いに、将来的には東側に向かい、やや南側にカーブしながら市民体育館付近を通過し、県道に接続する法線を考えているとのこと。

## 都市整備課

都市計画係から、新久保東地区地区計画、今在家地区地区計画について報告がありました。

委員から、今在家地区地区計画においては「二酸化炭素排出実質ゼロの実現に寄与する工業団地を形成することを目標」と追記されているが、具体的にどのような工業団地を目標にしているかとの問いに、長期的なスパンで、脱炭素に向けた取組を進められる事業者に立地していただきたい。誘致を行う事業者と協議しながら、この考え方をこの区域の中に取り入れていきたいとのこと。

開発指導係から、入札案件、宅地造成及び特定盛土等規制法の運用について報告がありました。

公園・緑地係から、入札案件、古賀市公園再整備基本計画の策定について報告がありました。

委員から、公園再整備基本計画案に関するパブリック・コメントの結果について、市民と行政との公園の捉え方に相違があると感じるが、どのように考えているかとの問いに、市民との意識の乖離は、個別の公園整備に入るまでの間に様々な手法で埋めるよう努力する必要がある。個別の公園整備に当たり、市民の意見を取り入れつつ、安全管理の面も含めた市の考え方を丁寧に説明し、理解を得られるよう努めるとのこと。

## 市民部

### 環境課

**環境整備係**から、市の事務事業に係るエネルギー使用量等（令和 6 年度分）、古賀市脱炭素経営支援プラットフォーム、飼い主のいない猫に関する取組のためのクラウドファンディングの実施、KOGA 環境ひろば in サステナフェスについて報告がありました。

**資源循環推進係**から、令和 6 年度 一般廃棄物「総排出量」と「リサイクル率」について報告がありました。

**委員**から、脱炭素へ向け、エネルギー使用量削減に係る市の取組はとの問いに、職員の節電意識への取組や、設備機器の保守・更新を行っている。今後は、再生可能エネルギーへの転換により温室効果ガス排出量を削減する方向性で検討していきたいとのこと。

また、脱炭素経営支援プラットフォームへの参加企業・団体が、期待することは聞き取っているかとの問いに、1 社ずつ制度を説明する際に確認しており、それぞれの会社で脱炭素への取組状況が大きく異なるため、それぞれの段階でのニーズに応えられるよう取り組んでいきたいとのこと。

また、プラットフォームの事務局業務はとの問いに、ホームページの構築や、チャレンジャーである市内企業とサポーターである支援企業とのマッチングや、必要であればコーディネーターの派遣等も行っていた。昨年度、市が中心となって思いを込めてつくったプラットフォームであるので、運用の初年度である今年度は協力し合いながら、共につくっている状況であるとのこと。

**海津木苑**から、処理状況及び、古賀市海津木苑周辺整備スケジュール(案)について報告がありました。

**委員**から、海津木苑周辺整備スケジュールの詳細についての問いに、仮事務所旧処理棟の解体工事は令和 6 年度から 8 年の 9 月までの予定であり、駐車場整備と周辺整備に係る設計委託は今年度に、工事は 8 年度の 10 月以降に行う予定であるとのこと。

### 人権センター

**人権教育・啓発係**から、人権教育・啓発事業、人権相談事業、人権関係団体活動推進事業について報告がありました。

**男女共同参画・多様性推進係**から、男女共同参画推進事業、性の多様性尊重事業について報告がありました。

### 市民国保課

**市民係**から、戸籍の振り仮名の記載について報告がありました。

**委員**から、外国人の方が帰化された場合は対象になるかとの問いに、帰化された方は、日本国籍の戸籍を取得されるため、振り仮名の案内をするとのこと。

**国保係**から、国民健康保険税当初賦課結果、「資格確認書」・「資格情報のお知らせ」交付対象者数について報告がありました。

**年金・医療係**から、後期高齢者医療保険料当初賦課結果、「後期高齢者医療資格確認書」の交付について報告がありました。

**委員**から、資格確認書交付の詳細はとの問いに、国民健康保険に係る資格確認書については、原則マイナ保険証を持っていない方及び申請により希望された方に交付するとのこと。後期高齢

者に係る資格確認書については、マイナ保険証の有無にかかわらず全員に交付するとのこと。

#### **収納管理課**

**収納管理係**から、令和 6 年度及び令和 7 年度の収納状況、令和 7 年度滞納処分状況について、及び本年 10 月 1 日より開始される、税関係の証明書発行手数料のキャッシュレス決済導入について報告がありました。

**市税課**から、6 月末現在の市税調定状況、市税調定の推移について報告がありました。

**委員**から、国有資産等所在市町村交付金はどのような市町村へ交付されるかとの問いに、国家公務員住宅のような固定資産税が非課税となる国や県の資産がある市町村へ、代替措置として交付されるとのこと。